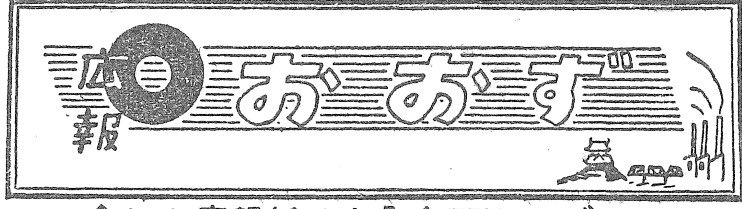


| | | | |
|------|---------|------|---------|
| 総人口 | 46,390人 | 本籍人口 | 56,010人 |
| 内(男) | 22,582人 | 内(男) | 27,535人 |
| 内(女) | 23,808人 | 内(女) | 28,475人 |
| 世帯数 | 9,794世帯 | 本籍数 | 17,066戸 |
| 出生 | 63人 | 死亡 | 35人 |
| 結婚 | 26件 | 離婚 | 1件 |
| 死産 | 1件 | | |



◆この廣報紙は市内各戸配付です◆

発行所 愛媛県大洲市役所
 発行人 沼田恒夫
 代表者 沼田恒夫
 編集人 集岡武
 総務課 谷岡武
 (月1回1日発行)

広報を
 みんなが読んで
 よい暮らし

蚊のいない夏は 環境衛生の成果は

三年目の反省 みんなで考えよう

過去三ヶ年にわたり市内環境衛生の完璧を目標に市は諸般の手を打って来た。市民の方々もこれに呼応して協力をお願いした。先般保険衛生課で三年目の成果と普及の実態を全市にわたり見て歩いた。その所見を紙上に述べて、更に市民各位の強力な協力添えをお願いしたい。

一、各地区の実態を調査して

今回、各地区を見て廻り、環境衛生の完全な成果をあげることが如何に困難であるかを痛感しました。殊に養蚕地帯はむかしから家畜を副業の主体にして居る地域は熱心であり、効果もあがっている。完全な効果をおとすには、地区挙げて実施しなければならぬ。これが絶対条件にかゝらねば、全域を通じてこの条件を欠いているところが多いことを痛感した。二十戸の部落があれば二十戸全戸が歩調を合せて実施せねばならないのに、中に一戸か二戸実施しない世帯があると折角他の世帯の努力が半減

さや／＼と秋風がふく。一人農道をいくと。黄金の波が視界一ぱいにひろがってくる。歩みをとめ、そつと稲穂に手をあて、稲穂の重さを計つてみる。重さの感が、ひそと私の心に波うつてくる。種まきからはじまって、田植、防草、消毒……、田近頃消毒の労役がうんと多くなつてきている。そして迎えた、みのりの秋なのだ。ふと、かたわらを見ると、稲穂のかげに、まんじゆしやげの花が黄金にいろどりをそえていた。みのりの秋の私の体の中のごちからが希望がひろがっていくように「写真はあたるたんぼ道に」



なりました」という部落も多かった。部落によつては、地区委員、衛生班長といつた方が全く熱心で部落の人達を説得指導して、一〇〇%の効果を挙げている部落もあつた。こういふところは部落の人全体が積極的に地区委員、衛生班長に協力しているところである。この模範部落は後で紹介しよう。

二、環境衛生とは?

環境衛生の在り方は、第一に市民の皆さんが絶えず心掛けていて実行を怠らぬことです。例えばボウフラの発生する不必要な水溜りを放置しないこと。便所は土や板等で密閉するよう溝をさかえらる。雨水の溜る野外の空かんや茶わんなどの器のかけらを取り除くこと。庭、堆肥の周囲又はその舎の周囲に薬品を散布すること。これらの諸事項を絶えず注意して実行すること。こうしたところへ薬品を有効適切に散布するよう配布した薬品の分量で充

前に述べたように、環境衛生は個人々々で、どうやうにやるとも駄目です。必ず部落、あるいは地区と完全な協同実施でなくては行けない。或る地区で二〇戸程の甲の部落と一〇戸程の乙の部落とが隣合つていて、甲の部落は非常に熱心で便所および下水を密閉整備して駆除に万全を期しているところ、隣の乙の部落は与つて呑気、環境衛生は与つて呑気、とポツポツと見えて、ソツソツと見えて、かようなことで甲部落の、角の努力が水泡に帰し

衛生班長会などで一応の説明注意はしてあるが個人に当ると薬のべ方がまちまちで二回分を一回にやつたり、殊に撒布場所を考えなかつたり、時期を考えなかつたり等も効果の挙げない証であり、私どもの立場から今後更に一そう、現地指導の必要を感じました。以上調査の結果を主なるものについて申し述べた。市の計画を推進してゆくことにいたします。どうして市民全部の方の一そうの目覚めと積極的な協力をお願いせねば推進することが出来ません。次に具体的に説明することにした。

分あります。前項のように日頃の注意や所置をなす、ただ思ひ出したように、便所に溝に薬品をまいただけでは、カヤハエがいなくならぬと安易にすましていたのでは絶滅は絶対に出来ません。薬品をいくら多量に使つても駄目です。使用法を間違えたりしたら尚さらです。もう一つ大事なことは施設の改善であります。下水の整備便所の改善、炊事場の改善など並行して行くことです。何も大金をかけて立派にする意味でなく、創意工夫により自分の手で出来るのです。

「止めてくれれば困る蚊も根絶は出来ないが、減らしたなら」との意見、しかしながら、余り効果があがらぬのなら、こんな多くの経費を使うのは馬鹿らしい話、ということになる。そこで最後に八多喜地区の家野部落を紹介して御参考いたします。家野部落は八多喜の上の方の山の中に位置し十二戸程の山間部落である。八多喜町からユツクリ登れば約一時間を要する。家はゆるやかな山の斜面にそい、耕地の中に点々とあつて水田等もかなり多くある。各家の周囲に果樹その他の樹木が繁つていてうす暗いと

ころが多く、ヤブカの発生には好適の条件のようでもあり、環境衛生の面からは言へない。こゝに蚊がいなくて考へて見る積りです。ご承知のように当市は財政再建団体でありながら、相当多額を支出して駆除薬を配布しています。「効果のないものなら三十五年度から真に愉快な話である。これは部落の人達が一致協力して地区委員や、衛生班長を中心に完全に歩調を合わせ努力された結果だ。施設が完備した結果、新築家は台所用便所も近代的に造られていて古く家の分も完全に出てくる。広い「タメ」は小さくしたところもあるが広いところもそのまゝ土や板で密閉し蚊や蛆の出入は絶対出来ない。牛舎には各戸二頭から三頭飼つているが入口には必ず「繩ノレン」が吊してある。そうして家は古くても清潔だ。蚊も一匹もいない。二ツトリも蚊に喰はれないから卵をよく生む、牛も肥えている。環境衛生が成功すれば増産につながるから愉快なことだ。以上のような環境に於いてあるところ、市から配布した薬品を指示したが熱心にやつてもらつていて、百聞一見に如かずだ。」

市内には良い地区が沢山あるが今一歩と言ふところが多い、どこでも皆んなでやつてもらえば、やれるという事例を紹介して、今後の御協力をお願いする次第です。(写真は改善された家野の衛生施設)

いりました。今回失業保険法の一部改正がおこわれ、従業員五人未満の事業主にたいして、事務取扱いを簡素化し、事業主自身が失業保険事務にわずらわれないで、事業主に代つて事務を代行する失業保険事務組合の制度が設けられました。現在、愛媛県下には五人未満の労働者を雇用している事業所が二、〇〇〇ありそのうち保険に加入している事業所は僅か一、〇〇〇しかありません。県下各安定所はこれ等多くの未加入事業所に事務組合の制度を充分利用していただくようおすすめておりました。その結果県下でもすでに八月三十一日現在、八組合が設立され、小規模事業所の代行事務を行つて居ります。

大洲安定所としましては去る六月一日新谷商工業協同組合にお奨めして失業保険事務組合を設立し、その機能を充分發揮しつゝあります。また引きつゞき大洲商工会議所にも事務組合を設立されるようおすすめておりました。近々設立の運びとなつてまいりました。

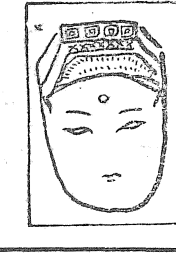
失業保険事務組合は、その団体に加盟している十四人以下の労働者を雇用する事業主に代つて、失業保険事務取扱を代行することにより加入事業所より、新しく入つた者、退職した者についてそのことを組合へ文書または電話で連絡し続けます。組合では所定の保険料(賃金総額の千分の十六を折半して事業主と労働者が負担)も事務組合より、毎月集金にまわりますから忘れることなく納付できます。その他保険金の給付を受ける場合は手続等一切を事務組合で代行してくれます。

以上のような組合の内容ですから趣旨、内容を充分御理解の上、各事業主ならびに従業員の方はすくんでご利用下さい。詳細な点、御不明な点につきましては、安定所へお問合せ下さい。大洲職業安定所

さわやかな秋を迎へ大へん凌ぎよくなつて参りましたが皆様お変わりございませんか。結婚のシーズンが訪れまじつた。どうか結婚相談所をご利用下さい。適令期の息子さん、娘さんをご紹介いたします。またお世話もさせていただきます。外部で成立をいたしました方も、当相談所をご利用下さい。お式は和・洋・神式何れでも致しますから、ぜひご利用下さい。毎日午前中、相談員がお

りますから遠慮なくご相談にいらして下さい。大洲市結婚相談所(公会堂内和室) 所長 石川 貴子 相談員 島田カズエ

【註】十月に相談所が行う結婚式は五組さま、十一月には相当多くなる見込みです。



栗栽培には

優良品種の導入を

栗は当地方の最も適した果樹であり、過去に換金作物として相当の栽培面積を占めていたが、粗雑な栽培であつた上に、栗玉の減少の著しい現況にあり、減産の憂情にあり、最近市内においても、栗栽培が次第に農業経営の内に広く取り入れられようとする傾向にあり、栗栽培は市の立地条件にもかなつていて、果樹であり、またその需要も年々増大し、農家の好適の副業であると考えられます。そのため市においては栗の栽培を奨励し、将来は市の特産品となるまで普及する計画のもとに優良品種を育成して栽培農家に頒布するため、今年度木採取母樹園を設け、現在植付した母樹は順調な成長をみており、大栗の春より順次希望者に分譲の予定であります。市に育成中の穂木採取用母樹は銀鈴および錦秋の二種類であり、両品種とも栗玉の大きさを低抗力が極めて強く、また生種であるため、台風被害をうけることも比較的少い大栗産性の優良品種でありますので、市の栗木採取母樹園で育成中のこの両品種により栗を増産されるよう推奨いたします。

なお栗は以前に大栗性の優良品種であつても、山栗等の小栗性の台木に接木し、ますと果実は小さくなる習性がありますので、大栗の種子を播いて台木を準備するとともに栽培方法は従来の粗放的栽培では樹の寿命も短かく、また規格の揃つた良質の果実はいられないので、畑開墾地に栽培して肥培管理を行うことが必要であります。栽培方法や市に對する栗木分譲申込みなどについては農業改良普及員にご相談下さい。

全国加入電話の数が三百万に

大洲電報電話局は「自動改式へ」

わが国の電話の数は、今年度の八月で三百万を突破しました。電々公社では、三百万突破を記念して、全国で十か所、四国では高松に記念電話を設置して記念行事を行なつた。そこで市民の皆様にも、三百万突破までの経緯と、今後の計画などを、ご理解とご支援をいただきたいと思つて、終戦時以來は五

四万という惨憺たる激減ぶりでした。電々公社では、国民経済の成長とともに、国民生活の向上ととも、昭和八年春から第一次五年計画をたて、さらに第二次五年計画を推進して、昭和二十二年の第二次五年計画の第二年度に加入電話の数を三〇〇〇〇〇に達した。その後のだんだん増加して、戦前においては、昭和十八年に百八万に達したのが最高でした。ところが戦災をこうむつて、終戦時以來は五

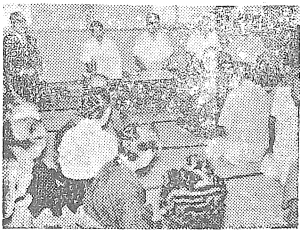
としより週間より

今年も九月十五日のとしよりの日を一週間をとしよりの福祉週間として全国的にとしよりのしあわせにするための運動がくりひろげられました。

市においても各種の団体や学校の協力をいただいて、いろいろの行事などを通じてとしよりのしあわせをはかるための運動を進めております。

九月十五日には知事代理として塩見民生部長さんが市養老院を慰問激励して下さいました。

よるべき御老人五十人が養老院に感激一入の一ときを



秋季交通安全運動

わたくしは、昭和三十四年五月に、八十四才の身をもつて養老院に入りました。養老院に入れば、「持つていった衣類は取り上げられ、金など一切取り上げられる。金は手元へ取り寄せてはいけません。」「などと云う事を聞いておりました。不安をもつて入つたものの一人でした。

しかし、このような不安は解消されて、全く楽しい毎日を過しております。短い文ながらも、養老院での生活を書いて、不安に思ふ人のために養老院を理解の田舎では中以上の家庭

養老院は楽しい

在院者 豊田 徳市

新しい村づくり運動は昭和三十一年に菅田、大川の両地区をもつて大洲第一地域振興協議会が結成され、続いて三十二年新谷、柳沢の両地区、三十三年に三善、八多喜、上須成の三地区がそれぞれ第二、第三、第四地域振興協議会を結成し、国の特別助成事業も行い地域推進にわたつたこの運動が展開されてきた。本年は重ねて平野、南久米の両地区および大洲地区がそれぞれ第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百の袋貼、ホゴあみ、縫物のできる人は縫物と、それぞれ自分の手にあつた事をして収入を計つております。

新しい村づくり運動

地区がそれぞれ第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百の袋貼、ホゴあみ、縫物のできる人は縫物と、それぞれ自分の手にあつた事をして収入を計つております。

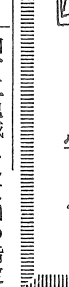
市全域に及ぶ

また、洗濯物などは何時でもしていただくことができ、理容も何の不自由もありません。衣類なども、古いのが新しいのと色々です。私達の小使は月百五十円です。酒や煙草をたしなむ方は大変不自由かと思われませんが、やはり草のみませんが、やはり不自由を感じますので、友人に無心を送ります。送金していただくこともありますが、養老院でその金を取り上げたりすることは勿論ありません。

娯楽設備に関しては、テレビ、ラジオがあり、みんな楽しく見たり、聞いたり

山林を

火災から守ろう



全職員心を新たに事業の拡充のために努力する覚悟です。どうぞご理解のうえ、ご支援をよろしくお願いいたします。

(第2次5カ年計画終了時)

| | | |
|------------|------|------|
| 34年8月37年度末 | 加入数 | 公衆電話 |
| 全国 | 300万 | 400万 |
| 四国 | 10万 | 14万 |
| 全国 | 7万6千 | 15万 |
| 四国 | 2千7百 | 6千 |

よおーい・どん！ 11月3日は体育大会

今年も十一月三日の佳き日に、全市を挙げて第五回市内親善体育大会を開きます。市民の誰もが明るく、楽しい一日であり、ますように振つて御参加下さるよう、皆さんの御協力をお願いいたします。なお、細部については近く関係者が集つて、より意義のある運動会になるよう協議することにしてあります。

大洲商工会館 改造落成

大洲商工会議所の事務所は、このほど改造落成した。本町二丁目、油屋旅館前の商工会館に移転した。この会館の前身は明治三十四年大洲商業銀行の建物として建築され、大洲銀行日本郵政銀行出張所、大洲町自治警察署などに使用されてきた建物であるが、去る七月二十四日、総工費九十四万五〇〇〇円で改造に着工、内容、外観ともあらたに、発展する大洲商工会議所にふさわしく、九月十八日落成したものである。耐震耐火レンガづくりの建物で、倉庫、食堂、ふくめると七十坪余り、事務室二部屋のほか、階上には百五十人収容のホールを有するなど、会館としては万全で、この建物を中心として大洲商工業の発展が期待されている。

大洲北裏線 バス開通

去る七月一日から団体加入電話ができて、地区内の連絡がうまくいき、市外どこでも通話が可能となり、文化の光に浴した南久米地区では九月十五日から最も奥地で不便とされてきた北裏線落バスが開通を、地区民の喜びは大したものである。

区間は大洲駅前より局前、柚木、北只偏路供養をえて野佐来、二本松、伊勢宮稲積、笹ヶ崎、北裏が終点となつている。十三軒行程である。去る九月十五日地元で今松代議士、宇和島自動車K.K.社長、営業部長大洲支所長、市長、議長その他関係者来賓多数を迎えて、

新谷農協 鶏卵の共同出荷をはじめ

新谷農協(組合長玉井水澄氏)では新谷地区が新農村建設の指定地区にえられ、農家の経営分析の結果、どうしても新谷では畜産と果樹を奨励する以外に道はないとの結論により、昨年より育雛器を購入し、共同出荷して農家に配布していたが、今年に入つてその数が約六、〇〇〇羽となつたので、今年より鶏卵の共同出荷にふみ切つた。

最初出荷は去る九月五日で六日ごとに集卵しているが、集荷には好成績をあげ、関係者を喜ばせている。

集荷前日には有線放送で養鶏家に呼びかけ、地区内六ヶ所に設けられた集卵所まで農協より取りに行くこと

ラジオ・テレビの雑音を防止しよう

私たちがラジオやテレビをたのしんでいるときに、雑音が入つたり、画面が見苦しくなつたりするのは、全く不愉快なものです。これはラジオやテレビそのものの故障によることもありますが、ラジオに入る雑音の大部分は蛍光灯、ネオンサイン、電気ドラム、電気バリカン、電気ドリルなどの電気器具や、配電線から発生し、テレビは高周波障害対策協議会では、十月一日から十月三十一日まで期間として、「雑音一掃運動」を展開することになりました。

これらの機器から出る雑音を一掃するため、県受信音を掃くための、N.H.K.に御相談の上、防止器を取付けて、ききよいラジオ、みやすいテレビが楽しめるようにいたします。

新谷農協

合理的な集荷方法をとつている。現在出荷先は郡番連を通じて出荷しているが、近い将来、一農家五〇羽養鶏を単位として二〇〇戸の農家で一万羽養鶏の道を開く。出荷の代金はそのまま農協に貯金、完全配合飼料代をその貯金帳より差引くという支払い方法をとつて、今年より鶏卵の共同出荷にふみ切つた。

この集荷するものが、ハツキリするとして農家も期待をかけている。

養鶏の熱心な研究者と、農協の指導部の努力を中心として、新農村建設の運動が着々成果をあげている一事例を紹介する。

X X X